

入試対策講座

要予約

11.12

土

これまでに実施してきた「従来型入試」に加えて、昨年度から新たに導入した「思考力型入試」と「英語入試」それぞれの入試についての出題内容を、詳しく説明いたします。

13:30～16:00

※時間は変更になる場合があります

入試科目がそれぞれ異なる

宮城学院 中学校 3つの入試

2021年度からの大学入試を先取り

思考力型入試 総合問題・作文

これまでの2教科型入試

従来型入試 国語・算数

英語力をさらに高める

英語入試 英語面接・作文

当日のながれ

受付開始 13:00～

開 会 13:30～

各入試対策講座

	従来型 入試	思考力型 入試	英語 入試
13:45 ～14:35	国 語	総合問題	英語面接
14:50 ～15:40	算 数	作 文	

キリトリ ✂

郵便はがき

料金受取人払郵便

仙台北局
承認
524

9 8 1 - 8 7 9 0

349

仙台市青葉区桜ヶ丘9丁目1-1

宮城学院中学校高等学校 行

差出有効期間
平成30年8月
31日まで
(切手不要)



中学入試対策講座申込記入欄

必要事項を記入してポスト
に投函してください。

ふりがな 氏 名 保護者氏名

学校名 学校 年

住 所 (〒 -)

電話番号 本人、保護者を含む
来校者人数 人

※ご記入いただいた個人情報は、資料の送付等以外の目的には使用しません



入試対策講座の参加には

事前予約が必要です。

必要事項を記入して
ハガキにてお申し込みください。

※FAXまたはホームページからも申し込み可能です

Access アクセス

- JR 仙台駅から
西口バスプール3番「宮城学院前」行乗車→「宮城学院前」下車
西口バスプール2番「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」行乗車
→「宮城学院前」下車
- 地下鉄旭ヶ丘駅から
3番バス停「双葉ヶ丘入口経由宮城学院前」行乗車
→「宮城学院前」下車
- 地下鉄八乙女駅から
2番バス停「北環状線経由長命ヶ丘団地」線乗車
→「上谷刈山添」下車
- 地下鉄泉中央駅から
6番バス停「宮城学院前経由桜丘小学校前」行乗車
→「宮城学院前」下車

中高一貫校ならではのメリット満載！

宮城学院 充実のプログラム

宮城学院には、公立学校にはない中高一貫校ならではのメリットがたくさんあります。

ここでは、宮城学院ならではの充実のプログラムをご紹介します。

チカラをつける
勉強の専門店街

スタディモール

今年度、宮城学院に誕生した「スタディモール」は、放課後や授業外の学習をさまざまな形でサポートするプログラム。宮城学院の生徒なら放課後18時30分まで、誰でも利用が可能！学習塾に通わなくても、学力向上を可能にします。

主な学習
サポート

自習利用 広々とした個人スペースで自学自習が可能！

フォーサイト班 システム手帳と定期面談で自学自習をサポート！

サブリ班 貸出タブレットで予備校の授業を受講！

勉強班 一斉個別学習を行う“学校の中の予備校”！



自分の希望する入試方法を選ぶ

宮城学院中学校 3つの入試

※1～3のうち、希望する入試を選ぶことができます（1人で2つの入試まで選択可）。その場合、どちらかの入試で合格していれば、入学することができます。

入試の種類	内容	入試科目
1 思考力型	公立中高一貫校と併願可能な教科融合型の総合問題を出题	総合問題・作文・面接
2 従来型	国語・算数の教科力を判断する2教科型の入試問題を出题	国語・算数・面接
3 英語	英検4級相当の英語力が必要条件	作文・英語面接

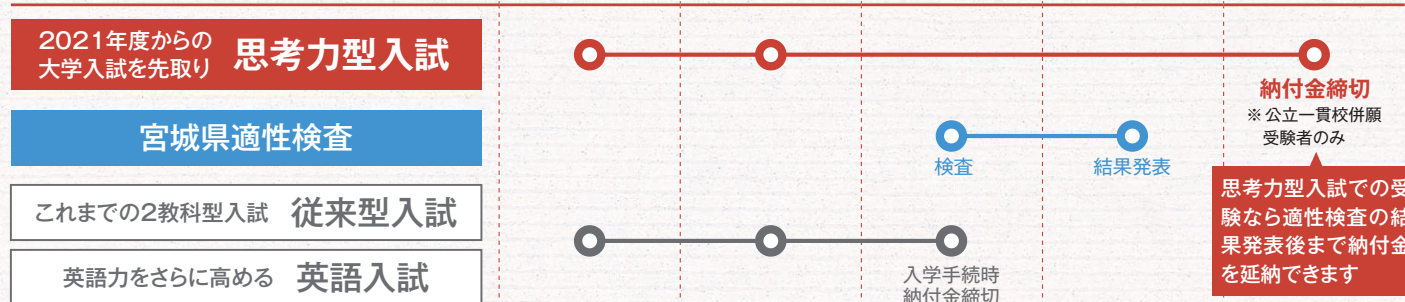
2017年度 入試日程

【出願期間】12月1日(木)～15日(木)

【試験日】1月5日(木)

【合格発表・入学手続き】1月6日(金)

入試から納付金締切までのながれ



ほんとの女子力を考えよう。

宮城学院中学校

Miyagi Gakuin Junior High School

〒981-8557 宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘9丁目1番1号

TEL. 022-279-1331 FAX. 022-279-5113

e-mail. info-chukoh@miyagi-gakuin.ac.jp

宮城学院中学校

検索



宮城学院 中学校



Miyagi Gakuin Junior High School

2 0 1 7

凜と輝く
自分をつくる

教育の特徴

1

英語

ENGLISH

宮城学院では、創立以来130年間、多くのアメリカ人宣教師が教壇に立ってきたこともあり、コミュニケーションな英語力を大切にしてきました。グローバル化の進行に伴い、「聞く」「話す」「読む」「書く」のバランスのとれた英語力が、ますます必要とされています。宮城学院では、時代の最先端を行く英語教育を進めています。

英語入試

幼稚園や小学校から
英語を勉強してきた
人向け

英語入試は、英検4級程度の英語力を持つ児童に対して、英語面接と作文のみで判定をする入試。入学後に幼稚園や小学校から勉強して身につけた英語力をさらに伸ばします！

入学後の英語授業は？

英語入試入学者は

GrapeSEEDプログラム^{※1}(5時間ネイティブ) + 指導要領準拠英語(3時間)

思考力入試・従来型入試入学者は

オンライン英語^{※2}(2時間ネイティブ) + 指導要領準拠英語(5時間)

※1 GrapeSEEDプログラム(GSP)とは…GrapeSEEDとは、仙台市東区に本拠を置くグレースティ社が開発した英語教材。英語を「聞く」「話す」力をつける教材として、英語を学ぶ世界中の子ども達のために開発されたカリキュラムです。この教材を導入した生徒の実態に合わせてUnit1から学習を始め、アメリカの小学校高学年から中学生相当のUnitに入っていきます。授業はネイティブの先生が担当します。

※2 オンライン英語(OE)とは…OEは、英語を「聞く」「話す」力を強化するトレーニングです。1対1の英会話を行うSkype英会話講習と、TOEFLなど国際的な英語検定に出題される問題を解く力をつけるLINC Englishから構成されています。ネイティブの先生が担当しオンライン学習を行います。

教育の特徴

2

音楽教育

MUSIC EDUCATION

旺盛な好奇心と豊かな感受性。生徒たちの伸びやかな感性を開花させるための音楽教育が本校の特徴のひとつです。音楽の授業を充実させ、豊かな表現力を身につけるとともに、人々と感動を共有するコミュニケーションスキルも身につけます。本校の土台にあるキリスト教の宗教音楽が生徒たちにより豊かで深いインスピレーションを与えています。また芸術的感性を育むことを目的に、美術の授業も充実させています。

音楽

音楽文化を支える
心豊かな女性を育成

音楽の授業では、発声を基礎からトレーニングした上で、日本の歌曲をはじめ、英語・イタリア語・ドイツ語・ラテン語などさまざまな歌曲にも挑戦します。合唱の楽しさ、音楽の魅力を体感することで生徒たちの感性はさらに輝きを増します。また、音楽の素晴らしさを表現するためには、優れた聴き手があること。合唱コンクールやクリスマス礼拝はもちろん、日頃の歌のテストでも他者の演奏を聴く力を養います。こうした体験は人間教育、コミュニケーション能力の向上にも役立っています。

弦楽

憧れの弦楽器を学び
成果を発表

中学3年生からは、通常の音楽の授業の他に、週2回の弦楽授業を設けています。全生徒がヴァイオリン、ヴィオラ、チェロから希望する楽器を1つ選択し、音楽教師の指導のもと1年間練習します。多くの生徒が憧れている授業であり、目を輝かせて練習に取り組んでいます。練習の成果は卒業式当日、クラス毎に発表します。クラスメートが心をひとつにして織り成す弦楽合奏のハーモニーは格別です。さらに弦楽を学びたい場合は、高校で授業を選択することができます。

美術

恵まれた環境の中で
磨かれる感性

美術の授業では、ゆとりのある時間数を活かしてじっくり制作に取り組み、感性豊かな作品を生み出しています。四季折々の美しいキャンパスでお気に入りの風景を見つけ、スケッチを行うこともできます。こうした恵まれた環境の中で、日々感性が磨かれ、成長期の心身のバランスを保つことにもつながります。授業の中から芸術への興味を深め、絵画や造形など表現する楽しさに目覚め、美術系・芸術系の大学に進む生徒も少なくありません。

教育の特徴

3

国際理解

INTERNATIONAL
UNDERSTANDING

戦争や貧困、民族間の紛争や環境破壊など、さまざまな課題を抱える私たちの地球。今こそ、国家という枠組みを超えて地球規模の視点に立ち、解決を図ることが必要となっています。キリスト教教育、早期からの英語教育をベースに、世界の最先端の情報にふれる中で、グローバルな感覚を身につけ、世界に目を向けた人材の育成をめざします。



宮城学院の国際理解プログラム

グローバルスタディーズ

宮城学院の国際理解プログラムは、2004年、NGO「CARA(西アフリカ農村自立協力会)」代表の村上一枝さんとの出会いに端を発します。当時、英語の授業で村上さんの活動に共鳴した高校生が村上さんに手紙を書きました。「西アフリカ、マリ共和国の貧困を救うために、わたしたちも力になりたい」。その後、文化祭での手作り品によるバザーの運営でマリ共和国に識字学校を贈ることができました。その後も支援と学びは続き、2014年には総合学習「グローバルスタディーズ」として体系的な学びの場が与えられました。そして2015年からは、「学びと交流のパート」などのプログラムから成る総合学習として、体系的な学びを実践しています。

高校入学前に 英語力を飛躍的に高める

3ヶ月留学プログラム(ワンターム留学)

今年度からスタートした「3ヶ月留学プログラム(ワンターム留学)」。仙台では初となるこのプログラムは、中学校3年の1~3月までの3ヶ月間、海外へ留学します。留学先は、ニュージーランド。留学校はSt.Mary's CollegeやMarist Collegeなど、現地でも名の通った名門キリスト教系女子校ばかりです。

ワンターム留学の
メリットとは？



1週間程度の短期留学は、実際に語学力の習得にはつながらず、1年間の長期留学では語学力が習得できるものの、費用面での負担や大学受験で不利になるケースが考えられます。そこで今、注目されているのが「ワンターム留学」。中学校3年の1~3月までの期間に留学できるのも、高校受験のない中高一貫校ならではの。帰国後は、留学中に得たスキルや知識をベースに英語力を飛躍的に向上させ、受験勉強(特に国公立大向け)を有利に進めます。

※このほか毎年春休みには、オーストラリアやカナダの姉妹校での約2週間のホームステイプログラムを実施。また各種留学団体を通して、1年間の留学も行っています

宮城学院中学校 学校説明会開催!!

予約不要

宮城学院中学校の教育内容をはじめ、受験生の希望に応じて入試方法を選択できる「思考力型入試」「従来型入試」「英語入試」3つの入試について、詳しく説明いたします。

第1回

10.15 土

第2回

10.29 土

いずれも14:30~16:00

※ 時間に変更になる場合があります



小学生の女子であれば 学年に関係なく
どなたでも参加いただけます! 奮ってご参加ください!



130周年記念 クリスマス礼拝

12.10 土
13:00~15:00 要予約

会 場

東京エレクトロンホール
宮城

救い主イエスさまのご降誕をお祝いして、神様に感謝する礼拝です。クリスマスのメッセージを聴き、ページェント(降誕劇)が神様に捧げられます。ハレルヤコーラスの荘厳な歌声、キャンドルサービスの暖かな灯は永遠に心に残ることでしょう。



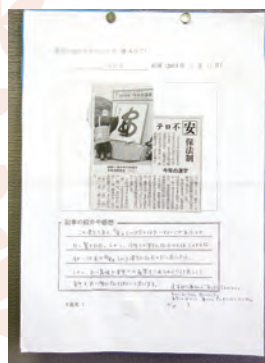
Topics

新聞を教育の教材として活用

「宮城県NIE実践指定校」 に認定

学校などの教育機関で、新聞を教育の教材として活用するNIE(Newspaper In Education)。昨年「宮城県NIE

実践指定校」の認定を受けた宮城学院中学校では、毎日各クラスに新聞1紙を配布したり、終礼時に生徒がその新聞記事についての発表を行ったり、授業内での新聞の切り抜き活動、昇降口への新聞掲示など、学校生活の中に新聞がある環境づくりを進めています。



上)生徒が終礼時に発表した新聞記事 下)昇降口での新聞掲示